

2020年10月20日

内閣総理大臣 菅義偉殿
財務大臣 麻生太郎殿
厚生労働大臣 田村憲久殿
経済産業大臣 梶山弘志殿
経済再生大臣 西村康稔殿
(元新型コロナウイルス対策担当大臣)
文部科学大臣 萩生田光一殿
文化庁長官 宮田亮平殿

ユニオン出版ネットワーク(出版ネッツ)
協同組合日本俳優連合
一般社団法人日本ベリーダンス連盟

「新型コロナウイルス感染拡大の影響に関するアンケート調査結果」 およびフリーランスへの支援に関する要望

新型コロナウイルス感染症対策での日頃のご尽力に心から感謝申し上げます。

ご承知のように、フリーランスは新型コロナウイルス感染症拡大により、仕事・収入・生活等に大きな影響を受けています。そこで、私たち3団体は、それぞれの業界で働く人々を対象に、「新型コロナウイルス感染拡大の影響に関するアンケート調査」を行いました。調査結果は夏段階のものですが、10月に入ってから新型コロナウイルス感染は収束する気配が見えず、フリーランスが置かれている状況も調査時点と大きく変わっていません。それどころか、年末から来年にかけて、さらに厳しい状況になるだろうと予測する声もあります。

フリーランスの切実な声が寄せられたこの「調査結果」をもとに、フリーランスの実態とニーズに合った継続的な支援策をとっていただけますよう、以下の通り要望します。

記

- 1 フリーランスは2月以降、仕事の延期やキャンセル、見込み収入の消失などで経済損失を受け、厳しい生活を強いられています。緊急事態宣言解除後も感染拡大は止まらず、いつ収束するのかが見えないなか、今後の見通しが立たず、長期にわたる収入減少への不安を抱えています。雇用・非雇用を問わず、すべての人に生存権が保障されなければなりません。フリーランスの生活基盤を支えるため、国による経済的支援の継続、拡充を望みます。
- 2 持続化給付金については、「対象にならない」「要件が合わず申請できない」という声があがっています。生活が困窮している人に支援が届くように、要件の緩和、手続きの簡素化などを行い、一人でも多くの方が持続化給付金を受けられるように制度を変えてください。

3 フリーランスには、セーフティネットが整備されていません。私たちは「生身の働き手」です。感染症のリスクも、子育ての大切さも、仕事と収入が失われる際の痛みも、雇用・非雇用の別はありません。仕事がない、病気やけが、出産・育児や介護で働けないときのセーフティネットが必要です。傷病手当金、休業手当、失業給付（仕事が入るまでの給付）、未払賃金（報酬）立替払制度等を、フリーランスにも拡大適用する、あるいはこれらに準じた制度を創設してください。

以上

（注）アンケート調査結果は、下記のサイトからご覧いただくことができます。

日本俳優連合：

<https://www.nippairen.com/wp-content/uploads/2020/09/3a6336735ad8eb197346292d5a00e358.pdf>

日本ベリーダンス連盟：

https://drive.google.com/file/d/1-rkVJQA5DeE1LHnI1DNPze1Qm_sVtOjy/view

出版ネッツ

http://union-nets.org/wp-content/uploads/2020/10/nets_COVID-19.pdf

【連絡先】（以下略）